

## 3-26 小学校（圏域：地域・地区）

### 3-26-1 施設再編の方針

対象施設
朝日小学校湯山分校、朝日小学校、山の手小学校（旧青山小学校、旧西小学校）、石垣小学校、亀川小学校、境川小学校、上人小学校、鶴見小学校、南小学校、南立石小学校、別府中央小学校、東山小学校、春木川小学校、緑丘小学校、大平山小学校
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 学校施設は、総量が大きく、老朽化しているため、公共施設マネジメントにおけるコスト削減への影響が大きいので、少子化が進行する将来予測を踏まえ、少人数学級・特別支援学級など、適正な教育環境を確保しつつ、統廃合などの適正配置を進めます。</li><li>➤ 短期的には、児童数減により生じた空き教室を活用するとともに、コミュニティ・スクールの理念に基づき、中長期的には、児童クラブや地域にある施設との複合化を図ります。</li><li>➤ 小学校は、比較的規模が大きく、改修工事にも多額な費用がかかるため、特に計画的な保全工事を進めるとともに、建替えや大規模改修時には、教育施設として適正な規模を確保しつつ、施設面積の縮小を目指します。</li><li>➤ 施設の老朽化を踏まえ、平成 29 年度末までに策定予定の『別府市教育施設長寿命化計画』において、就学前児童と小中学校の生徒を対象とする施設の一体化をはかるとともに、適正な規模と地域コミュニティの核となる施設を目指し、近隣施設との複合化及び安全性の確保など管理運営上の工夫も考慮した建替え計画を検討します。</li></ul>

### 3-26-2 現状分析

#### ① 施設の概要

平成 22 年 2 月に別府市学校適正化委員会より出された『別府市学校適正化にむけての答申』にもとづき、児童数減が顕著となっている学校については統廃合を進めてきました。

平成 28 年 4 月に西・青山小学校の統廃合を終え、現在の統廃合計画は完了しました。現時点では、今後の校区編成等の見直し予定はありません。

朝日小学校湯山分校は昭和 60 年 4 月から休校しています。

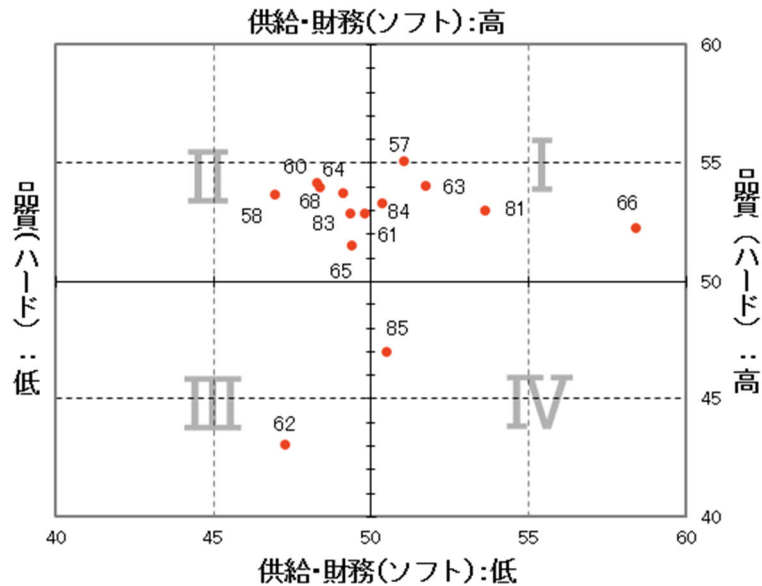
#### ② ポートフォリオ分析結果

小学校は 16 施設ありますが、朝日小学校湯山分校は小学校としての施設利用がなされていないため、ポートフォリオ評価の対象施設には含めません。

品質状況については、築年数は南小学校の 11.0 年から境川小学校の 48.2 年まで施設間によってばらつきがみられますが、耐震化対応については青山小学校を除きほぼ全棟で実施されています。

供給状況については、児童 1 人あたり面積により評価しますが、施設間により大きく差がみられ、児童数が 20 人程度の小規模校である東山小学校は、低く算出されています。

財務状況については、面積あたり市負担額、児童 1 人あたり市負担額により評価しますが、供給状況と同様に、児童数の少なさから東山小学校の偏差値が低く算出されています。



台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務			平均偏差値 (ソフト)	判定結果	
			築年数 (年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値		児童1人あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたり市負担額 (千円/㎡)	偏差値	児童1人あたり市負担額 (千円/人)			偏差値
57	朝日小学校	6,391.8	35.6	46.9	99.6	55.2	51.1	10.6	55.1	7.0	56.0	73.9	54.0	55.0	I
58	青山小学校	4,583.0	36.4	46.4	69.2	47.6	47.0	11.6	54.5	8.6	52.9	99.9	53.4	53.6	II
60	石垣小学校	4,881.4	41.7	43.2	92.2	53.4	48.3	9.3	55.9	8.7	52.7	80.9	53.8	54.1	II
61	亀川小学校	5,525.4	39.9	44.3	100.0	55.3	49.8	15.2	52.5	8.4	53.3	128.0	52.8	52.8	II
62	境川小学校	4,790.1	48.2	39.4	99.4	55.2	47.3	10.2	55.4	23.8	23.6	246.0	50.1	43.0	III
63	上人小学校	4,470.9	31.8	49.1	96.1	54.3	51.7	13.2	53.6	7.5	55.0	99.5	53.4	54.0	I
64	鶴見小学校	6,015.5	40.7	43.8	96.6	54.5	49.2	11.5	54.6	8.5	53.1	99.4	53.4	53.7	II
65	西小学校	4,870.9	39.3	44.6	95.6	54.2	49.4	30.3	43.8	5.6	58.8	168.6	51.8	51.5	II
66	南小学校	6,174.1	11.0	61.5	100.0	55.3	58.4	20.5	49.4	7.5	55.1	153.6	52.2	52.2	I
68	南立石小学校	4,207.2	43.5	42.2	97.1	54.6	48.4	11.4	54.6	8.2	53.7	93.3	53.6	54.0	II
81	別府中央小学校	6,216.0	27.0	52.0	100.0	55.3	53.7	20.5	49.4	6.6	56.8	135.2	52.6	52.9	I
82	東山小学校	2,016.4	16.6	58.2	100.0	55.3	56.8	81.7	14.4	19.3	32.5	1,868.7	12.8	19.9	IV
83	春木川小学校	4,729.7	39.8	44.4	96.4	54.4	49.4	19.2	50.2	7.1	55.9	136.0	52.6	52.9	II
84	緑丘小学校	4,317.8	35.9	46.7	95.2	54.1	50.4	14.8	52.7	8.0	54.1	118.2	53.0	53.3	I
85	大平山小学校	5,131.9	35.9	46.7	96.0	54.3	50.5	12.7	53.9	17.2	36.4	222.1	50.6	47.0	IV

※文部科学省耐震化推進計画対象建物『2階建て以上または延床面積200㎡超の非木造建物』または『3階建て以上又は延べ床面積500㎡超の木造建物』以外の建物は耐震性未確認となっています。

※青山小学校・西小学校はH28年度から山の手小学校に統合されており、旧施設での分析となっています。

図 69 ポートフォリオ分析 (小学校)

### ③ 老朽化の状況

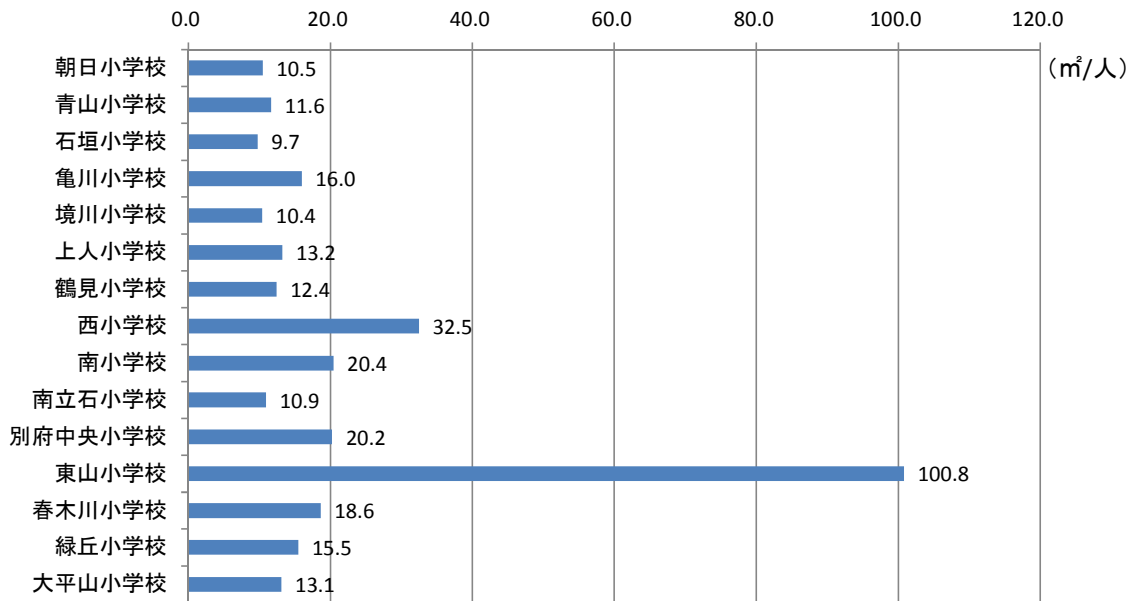
文部科学省耐震化推進計画により、対象施設の耐震化は完了していますが、昭和40年代から50年代にかけて整備された施設が多く、築40年以上を経過している施設が半数近く、そのうち築50年以上を経過した施設は6棟あり、老朽化が進んでいます。

朝日小学校湯山分校は休校していますが、建築後55年以上が経過しているため老朽化が顕著です。また、耐震化未対応です。

### ④ 利用状況

#### (i) 児童1人あたり面積

児童1人あたり面積は、小規模校である東山小学校で突出して高く、その他一部の学校では20㎡を超えています。このような学校は未利用スペースが多くある可能性が高いといえ、規模縮小や統廃合の可能性、あるいは未利用スペースを活用した複合化を検討する必要があります。



※平成 26 年度実績に基づいて作成

図 70 各施設の児童 1 人あたり面積

(ii)児童数の推移

少子化に伴い、児童数は減少傾向にあり、昭和 54 年には 12,055 人だった市立小学校に通う児童数は、平成 18 年は 5,774 人、平成 27 年には 5,174 人となり、10 年間でも 10%、昭和 54 年当時から比較すると 57%以上、減少しています。

別府市人口ビジョンによれば、今後 30 年間で年少人口は 23%減少するので、児童数も同率で、減少すると予測されます。

小学校児童数・中学校生徒数推移 (S44~H27)

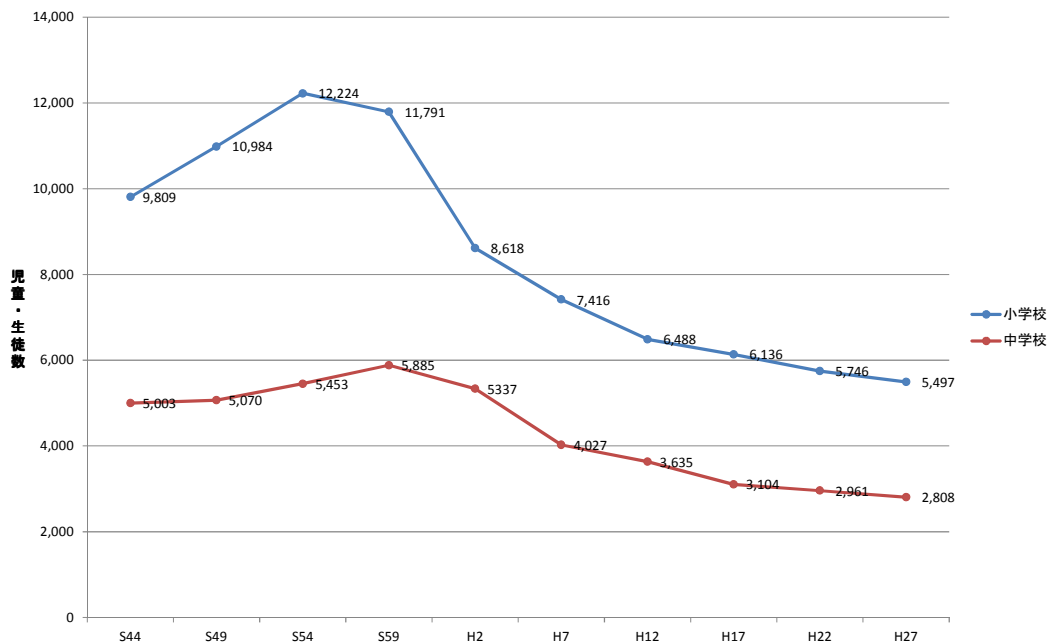


図 71 児童数の推移